

質問事項		記述式回答
経済再生と両立する財政健全化		
1	以下の二つの取組について、先進的な取組事例や具体的な取組のご提案がございましたら500字以内でご記入ください。 ①公的サービスの質の向上と歳出効率化に向けた、国民・企業・自治体等の自発的な取組を促すようなインセンティブ改革 ②これまで行政が担ってきた公的分野について民間の多様な主体との連携を促進することにより、その創意工夫と民間資金の活用を図る「公的部門の産業化」	「高齢化に伴うコスト増が不可避」とされる医療分野にいて、民間の創意工夫を活用していくことが重要である。他産業では一般的であるが、とくにイノベーションによって医療コストを引き下げていくという視点がこれまで不十分であったように思われる。 もちろん、人の健康にかかわることであるので安全性はないがしろにできないが、薬事法の運用の面で新しい技術の承認審査の迅速化を図る、医療機器について性能の違いがより価格に反映されるようにする、産官学の連携による新技術の開発をより積極化させるといった取り組みにより、イノベーションを加速することが可能であるように思われる。またインセンティブ付けの工夫により、医師も患者もジェネリック医薬品を選択しやすくするなどの取り組みも考えられる。 さらに、地域によっては病床数にかなりの違いがあるが、真の需要に見合ったものになっているのか、チェックが必要である。また、ビッグデータの分析技術を活用して、患者にとっての最適な受診のあり方を導き出し、サービスレベルを落とさずに医療費削減を図ることも重要であろう。 以上のようなことを通じて「高齢化が進んでもコストが増えない」医療制度の実現を図るべきである。
2	2020年度の財政健全化目標を堅持することとしておりますが、その道筋についてご意見がございましたら500字以内でご記入ください。	現在の日本の財政赤字は、長い時間をかけて拡大してきたもので、これを短期間で解消するのは、そもそも無理がある。従って、一定の期間の中で、ゆっくりとではあっても着実に事態を改善させつつ、納得的な長期の再建ビジョンを見直し、提示していくことが必要である。その再建ビジョンの内容の決め手は、金融市場の信任が得られるか、という一点にかかっている。いたずらに成長率を上げた再建ビジョンを提示して、数字合わせをしてみても信任は得られない。 財政赤字の大きさを見るには、フローとストックの両面があり、両者は密接に関連している。従って、どちらか一方を見ていればよい、という話ではなく、例えば前者を基礎的収支の対GDP比率、後者を公的債務残高の対GDP比率で見ると言うはきわめて常識的な考え方である。